

3. 2 協会・支部等の活動事例

各地の建設業協会や支部・部会は、自然災害の応急復旧活動や防災支援活動を始め、河川・道路清掃や植樹などの環境美化、社会福祉活動、各種催し等による住民とのふれあいなど、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

平成 25 年度に顕彰した協会・支部等のこうした活動事例の中から、3. 1 で紹介した代表事例のほか、ここでは次の 13 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-02	京都府	(一社)京都府建設業協会 宇治支部	京都府南部地域豪雨災害の復旧支援活動
A1-04	大分県	(一社)大分県建設業協会 竹田支部	九州北部豪雨災害の復旧支援活動
A2-01	愛知県	(一社)愛知県建設業協会	学校の防災授業での土のうづくり体験指導
A2-02	奈良県	(一社)奈良建設業協会	奈良県防災総合訓練への参加
A3-01	山口県	(一社)山口県建設業協会 下関支部	「道の日」クリーンアップ作戦
A3-02	佐賀県	(一社)藤津建設業協会	道路や公園等の除草・清掃活動
A4-01	茨城県	(一社)茨城県建設業協会 大子支部	ドクターヘリ離着陸場の芝生化活動
A5-01	群馬県	(一社)群馬県建設業協会 太田支部青年経営者部会	幼稚園内砂場の砂補充活動
A5-02	石川県	(一社)加賀建設業協会 建築委員会	「夏休み親子ふれあい木工教室」
A5-03	兵庫県	(一社)兵庫県建設業協会 尼崎支部青年部会	コスモス畑の整備とフェアの開催
A6-01	岩手県	岩手県建設業協会 遠野支部青年部会	「遠野かっぱ工事隊」活動
A6-02	神奈川県	(一社)神奈川県建設業協会 県央支部	地域イベント会場での建設業PR活動
A6-03	奈良県	(一社)奈良県建設業協会	ドリーム21けんせつ絵画コンクールの開催

(1) 災害復旧支援活動

協会及び支部等の災害復旧支援活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-02	京都府	(一社)京都府建設業協会 宇治支部	京都府南部地域豪雨災害の復旧支援活動
A1-04	大分県	(一社)大分県建設業協会 竹田支部	九州北部豪雨災害の復旧支援活動

事例 A1-02 : 京都府

京都府南部地域豪雨災害の復旧支援活動 ((一社)京都府建設業協会宇治支部)

平成24年8月13日から14日にかけて関西地方を襲った集中豪雨により、京都府南部で、河川の氾濫や土砂崩れが相次ぎ、道路は寸断され、多くの集落が孤立した。特に宇治市では、建物の全半壊31棟、床上浸水591棟など大きな被害が発生した。

京都府建設業協会宇治支部は、14日未明の宇治市からの第一報を皮切りに、各所からの緊急出動要請を受け、盆休み中の企業が多い中、復旧に必要な人員や機械、土のうなどの物資の手配を急ピッチで進めた。早朝からの現地調査の結果、被害が広範囲に及ぶことが判明したため、昼には支部内に対策本部を設置して情報を整理し、活動を本格化させた。

市民の生活道路の確保を最優先に作業を進めたが、山間部では重機のアクセス通路の確保から始めなければならない状況であった。そうした中、同支部の会員企業は、集落、道路の土砂やがれきの撤去、河川の護岸決壊箇所の監視と応急処置などに不眠不休で取り組み、1か月後には応急復旧工事をほぼ完了させた。

同支部は、今回の対応で得られた教訓、課題を検証し、今後の更なる体制整備につなげたいとしている。



土砂崩れ被害



土砂の撤去



堆積物の撤去

九州北部豪雨災害の復旧支援活動（(一社)大分県建設業協会竹田支部）

平成 24 年 7 月 12 日未明から九州北部で降り出した雨は、早朝にかけ大分県西部を中心に記録的な大雨となった。山間部に位置する竹田市では大雨・洪水警報が発表され、午前 6 時 15 分には全域に避難勧告が出された。午前 7 時までの 3 時間雨量は 135 ミリを記録し、市内を流れる玉来川が氾濫して濁流が山手地区まで達した。

大分県建設業協会竹田支部は、大きな被害の発生が予想されたため、早朝より幹部が事務所で待機し、午前 8 時には災害対策本部を設置した。しかし、災害対策の要となる大分県竹田土木事務所が浸水被害を受けたため、従来の指示・命令系統が機能しないことが判明した。そこで支部長は、県との災害協定に基づき、会員各社に対して管内の巡回と被災状況の報告、応急措置にあたるよう指示した。

各社は事前に定めていた担当区域を巡回して被災状況を支部に報告、支部は地図上にその情報を書き込んで被災状況を把握し、復旧の優先順位、復旧方法を検討した。また、行政機関からの指示、住民からの要請等もすべて支部に集中させることで、情報の混乱、指示の重複を避けるよう努めた。

同支部の管理の下、道路の全面通行止めの早期解消、家屋被害の拡大防止を最優先に、会員が一丸となって作業を進めた結果、被災箇所も順調に復旧していった。

なお、同年 12 月には、今回の災害復旧への同支部の貢献に対して、大分県土木建築部長より感謝状が贈られた。



市街地の土砂撤去



流路確保のための河床掘削



路面の泥土撤去



大分県土木建築部からの感謝状

(2) 防災支援活動

協会及び支部の防災支援活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A2-01	愛知県	(一社)愛知県建設業協会	学校の防災授業での土のうづくり体験指導
A2-02	奈良県	(一社)奈良建設業会	奈良県防災総合訓練への参加

事例 A2-01：愛知県

学校の防災授業での土のうづくり体験指導（(一社)愛知県建設業協会）

愛知県建設業協会は、近年、台風や集中豪雨による建物の浸水被害が多発していることに着目し、学校施設や福祉施設を対象に、浸水被害を防止するための「土のう」を製作して提供する活動を始めた。これは、同協会が進める社会貢献活動の一環として企画したもので、「あったらいいな！！土のうで浸水から守ろう」運動として今後展開していく予定である。

初年度となる平成24年度は、12月から1月にかけて、いずれも過去に浸水被害があった県立守山高校と渥美農業高校で、特別授業として土のうのつくり方、積み方の体験学習を行った。

守山高校では1年生180人、渥美農業高校では運動部生徒90人が参加し、「災害に強い地域づくり」と題した講義の後、同協会の指導の下、土のう袋への砂詰め、運搬、積み上げを体験した。生徒が製作した土のう約200袋と会員が製作した800袋、合計1,000袋の土のうを保管場所に移動し、シートを被せて体験は終了した。なお、作業に使用したリヤカー、一輪車、スコップは、学校に寄贈した。



防災講義（守山高校）

同協会は、今後も社会貢献活動として「建設業だからできること」を取り上げ、地域の安全・安心を確保するとともに、建設業への関心と理解を深めてもらいたいと考えている。



土のう製作（渥美農業高校）



土のう保管（守山高校）

奈良県防災総合訓練への参加（（一社）奈良建設業会）

奈良建設業会は、災害発生時に迅速かつ適切な復旧活動を行えるよう、常日頃より業界内の防災体制の整備に努めるとともに、地元で開催される防災訓練等にも積極的に参加して、関係機関や地域住民との連携強化を図っている。

平成24年度は、9月1日（防災の日）に天理市で開催された「奈良県防災総合訓練」（主催：奈良県、天理市）に参加し、実践的な役割を担った。この訓練は、地域住民や消防、警察、自衛隊のほか、建設関係、測量関係など県下の64団体約800人が参加する大規模なものとなった。

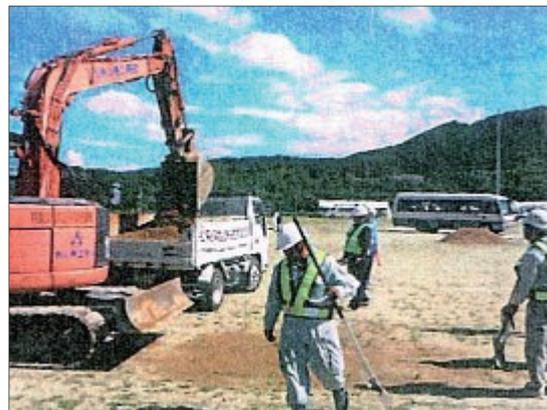
当日は、「午前9時、大雨が降り続いた状況で、天理市付近を震源とするM7.5の地震が発生、市内全域で建物・家屋が倒壊し、それに伴う火災も発生、道路の損壊や河川の決壊、水道・電気・ガス・電話などの施設被害が相次いだ」との想定で訓練が始まった。

同会は、行政からの要請により、ダンプ2台、重機1台、作業員5名を動員して、バリケード設置後、道路を塞いでいたがれき、土砂等を速やかに撤去し、緊急交通路を確保する実践訓練を行った。また、水防訓練として、河川パトロール、土のう製造機による土のう製作などを行った。

同会では、こうした訓練を繰り返すことで、業界はもとより地域全体の防災意識がさらに高まることを願って今後も活動を継続していくこととしている。



土砂の撤去訓練



土のう製作訓練



(3) 環境美化活動

協会及び支部の環境美化活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A3-01	山口県	(一社)山口県建設業協会 下関支部	「道の日」クリーンアップ作戦
A3-02	佐賀県	(一社)藤津建設業協会	道路や公園等の除草・清掃活動

事例 A3-01 : 山口県

「道の日」クリーンアップ作戦 (一社)山口県建設業協会下関支部

山口県建設業協会下関支部では、昭和56年より、毎月第3火曜日に道路清掃、環境美化啓発活動を行っている。また、毎年8月10日(道の日)には、山口県や下関市の職員とともに市内各所で「公共施設クリーンアップ作戦」を実施している。

平成24年度のクリーンアップ作戦では、会員企業20社から57名が参加して、新下関地区と川棚駅周辺地区で道路清掃作業を行った。当日は、朝から30度近くに気温が上がった中、午前9時に集合した参加者は、全建統一ベストを着用し、3班に分かれて歩道のゴミ拾いや草刈りに汗を流した。

下関市は、観光地としてはもちろん、4月の「維新海峡ウォーク」、10月の「ツール・ド・しものせき」、11月の「下関海響マラソン」など道路を利用した大規模イベントの開催地として、年間を通じて全国から多くの訪問客を迎えている。そのため、市は環境美化に特に力を入れており、美化活動を行う団体等を積極的に支援している。また、地域住民の美化意識も向上し、朝の挨拶を交わしながら、店舗や事務所前の道路を掃除する人々の光景が多く見られるようになった。

同支部は、「公共施設クリーンアップ作戦」をはじめとする地域貢献活動を重視しており、今後も積極的に展開していく考えである。



道路クリーンアップ作戦



歩道の雑草撤去



側溝の清掃

道路や公園等の除草・清掃活動（（一社）藤津建設業協会）

藤津建設業協会は、佐賀県の鹿島市、嬉野市、太良町の2市1町の会員企業で構成されており、市町ごとに地域の要望に合わせた環境美化活動を行っている。

中でも、毎年実施している鹿島市地域の道路の草刈り及び清掃作業、太良町地域の海水浴場駐車場及び公園の除草作業は、地域に定着した自主活動として、行政や関係機関のみならず地元の人々からも高く評価されている。

平成24年度の活動内容は次の通り。

(1) 海水浴場の敷地内駐車場及び公園の
除草、ゴミ拾い

開催日：平成24年6月28日

場所：太良町白浜海水浴場

参加者：24名

共催：太良町建設業協会

(2) 保育園内外の除草及び砂場抗菌砂入
替え

開催日：平成24年7月16日

場所：嬉野市吉田保育園

参加者：12名

共催：嬉野町建設業協同組合

(3) 国道のガードレール清掃

開催日：平成24年7月17日

場所：国道498号線

（塩田橋～鹿島市境）

参加者：12名

共催：塩田町建設業協会

(4) 国道及び市道の草刈り清掃

開催日：平成24年7月23日

場所：国道207号線バイパス側道
（黒川交差点～蟻尾山大橋）、
市道三源寺線（大木庭～浅浦）

参加者：29名

共催：鹿島市建設業協会

同協会では、今後も会員の自主的な発案による独自の奉仕活動を充実させることで、地域とのつながりを深めていきたいと考えている。



公園の除草



国道のガードレール清掃



市道の草刈り清掃

(4) 社会福祉活動

協会及び支部の社会福祉活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A4-01	茨城県	(一社)茨城県建設業協会 大子支部	ドクターヘリ離着陸場の芝生化活動

事例 A4-01 : 茨城県

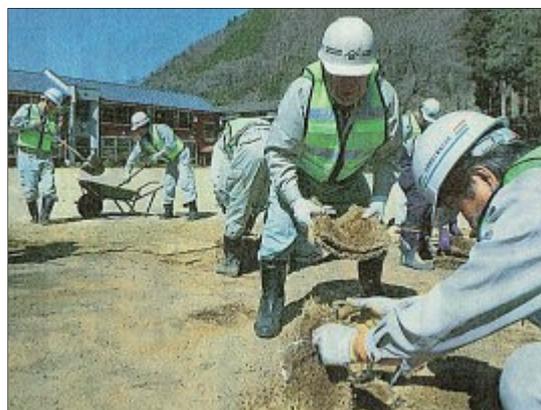
ドクターヘリ離着陸場の芝生化活動 (一社)茨城県建設業協会大子支部)

茨城県大子町は、過疎化・高齢化の進む県北山間部に位置しており、町内にはドクターヘリと救急車が合流するランデブーポイント(場外離着陸場)が31箇所指定されている。しかし、その半数以上は学校関連施設の運動場を利用したもので、ヘリ着陸前には、砂ぼこりを防ぐため消防による散水が必要となる。こうした状況では緊急時の対応に不安があるので、下小川地区の町民からは、指定場所の一つとなっている同地区の大子町教育支援センター(旧西金小学校)運動場の芝生化を求める要望が出ていた。

これを知った茨城県建設業協会大子支部は、地域への奉仕活動の一環として、会員による同センター運動場の芝張り作業を申し出た。大子町はさっそく芝生と肥料を調達し、同支部会員が芝張り作業を担当することになった。作業は、3月中旬の3日間、同支部から述べ60人が参加して行われ、会員が提供した重機で運動場を整地した後、肥料を施し、約1,600㎡の芝生を手際よく張っていった。

完成した芝生運動場は、今後は地域住民によって万全の管理を行いながら、グラウンドゴルフなどの軽スポーツを楽しむ住民交流の場としても活用していく予定である。

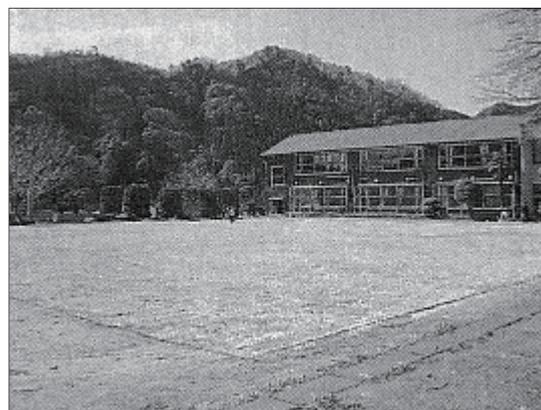
同支部では、これまでも道路清掃や花壇整備などの活動を積極的に行ってきたが、今後も地域の要望に沿った活動を充実させ、貢献したいとしている。



芝生の搬入



芝張り作業



完成した芝生運動場

(5) 建設業ふれあい活動

協会及び支部の建設業ふれあい活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A5-01	群馬県	(一社)群馬県建設業協会 太田支部青年経営者部会	幼稚園内砂場の砂補充活動
A5-02	石川県	(一社)加賀建設業協会 建築委員会	「夏休み親子ふれあい木工教室」
A5-03	兵庫県	(一社)兵庫県建設業協会 尼崎支部青年部会	コスモス畑の整備とフェアの開催

事例 A5-01：群馬県

幼稚園内砂場の砂補充活動（(一社)群馬県建設業協会太田支部青年経営者部会）

群馬県建設業協会太田支部の青年経営者部会は、平成21年より、太田市内の幼稚園を対象に、園児たちと一緒に砂場の砂を補充するボランティア活動を実施している。これは、安全な砂場を提供するとともに、園児たちに建設業への興味を持ってもらい、将来の担い手が一人でも多く育ってほしいとの期待を込めた活動である。

この活動は、毎年春と秋に2箇所ずつ実施しており、平成24年度は、6月5日に大光院幼稚園と太田幼稚園、11月8日にひかり幼稚園となかよし幼稚園で実施した。当日は、園庭に運び込まれた砂を、園児たちはシャベルとバケツで、部会メンバーは重機で、どちらが早く砂場まで運べるか競争するなど、楽しみながら作業を進めた。補充が完了した砂場では、さっそく園児たちの歓声が響き渡った。



大光院幼稚園での活動

福島原発事故後の園庭除染で砂場の砂が減り、砂遊びを制限していた幼稚園からは「これから毎日遊べるので子どもたちも大喜びです」と感謝の言葉を贈られた。

同部会は、地域に愛される建設業を目指して、今後もこうしたふれあいの機会を増やしていきたいと考えている。



太田幼稚園での活動



ひかり幼稚園での活動

「夏休み親子ふれあい木工教室」(一社)加賀建設業協会建築委員会

加賀建設業協会建築委員会では、平成22年より毎年8月、市内の小学生を対象とした「夏休み親子ふれあい木工教室」を開催している。これは、木材に親しみながら、親子が一緒になって飾り棚などの木工作品づくりを体験することで、ものづくりの楽しさを知り、建設業を身近に感じてもらうことを目的とした活動である。

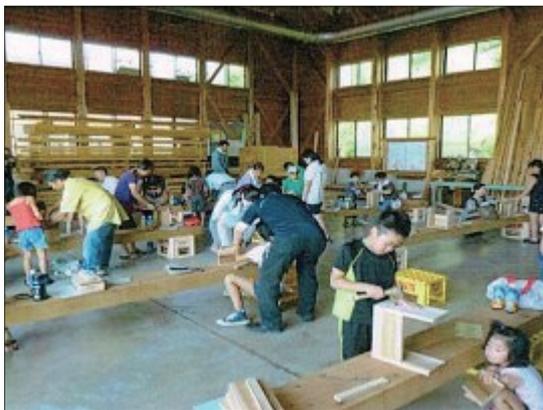
平成24年度は、8月25日、小松市のかが森林組合那谷工場において、加賀市山代小学校の児童と保護者ら100人が参加して開催された。参加者は、建築委員が事前に加工したブランド材「かが杉」の板を使って、スパイスラックや飾り棚作りに挑戦した。

はじめは慣れない手つきでくぎ打ちに苦戦していた親子も、委員のアドバイスを受けながら、きれいに組み立てることができ、満足げな様子であった。

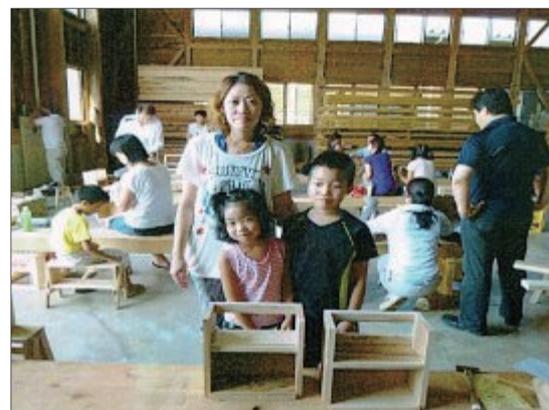
同協会では、土木委員会においても同様のふれあい活動に積極的に取り組んでおり、今後も身近で信頼される建設業を目指して努力を続けたいとしている。



木工教室会場(かが森林組合那谷工場)



木工作品づくりに挑戦



完成した作品

コスモス畑の整備とフェアの開催（（一社）兵庫県建設業協会尼崎支部青年部会）

兵庫県建設業協会尼崎支部の青年部会は、平成 20 年より、武庫川河川敷の「髭の渡しコスモス園」で、満開のコスモスを高所作業車に乗って上空から楽しむイベント「コスモスフェア～キラキラ笑顔のコスモス園～」を開催している。

平成 24 年度は、コスモスが満開となった 11 月 10 日に開催され、高所作業車からのコスモス見学のほか、小型建設機械の展示・試乗体験、飲食ブース「髭茶屋」での野点や軽食販売が行われた。特に高所作業車からの見学は順番待ちの長い行列ができる人気で、この日 480 人が上空から満開のコスモスを楽しんだ。また、子どもたちはミニバックホウや 3t ローラーに試乗して大喜びであった。

「髭の渡しコスモス園」は、ゴミの不法投棄などで荒れていた河川敷の環境を改善しようと、同部会がボランティア団体「髭の渡し花咲き会」と連携して開墾整備した公園で、今では毎年 4 万人以上が訪れる花の名所として知られている。

同部会は、来年以降も公園の維持活動やフェアの開催を通じて、市民に親しまれる建設業となることを目指している。



髭の渡しコスモス園



高所作業車からの見学



見学順番待ちの列



小型重機の試乗体験



飲食ブース「髭茶屋」

(6) 啓蒙活動

協会及び支部の啓蒙活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A6-01	岩手県	岩手県建設業協会 遠野支部青年部会	「遠野かっぱ工事隊」活動
A6-02	神奈川県	(一社)神奈川県建設業協会 県央支部	地域イベント会場での建設業PR活動
A6-03	奈良県	(一社)奈良県建設業協会	ドリーム21けんせつ絵画コンクールの開催

事例 A6-01：岩手県

「遠野かっぱ工事隊」活動（岩手県建設業協会遠野支部青年部会）

岩手県遠野市で復興支援道路として整備が進められている国道340号土淵バイパス（平成26年度完成予定）は、遠野の観光名所「カップ淵」や「伝承園」付近を通ることから、「遠野かっぱロード」と命名された。

岩手県建設業協会遠野支部の青年部会は、この命名を機に、平成24年3月、バイパス工事に携わる地元会員を中心に「遠野かっぱ工事隊」を結成し、地元のPR活動や奉仕活動を開始した。「遠野かっぱ工事隊」は、県の土木センターが発案、同部会が具体化した部隊で、地元及び周辺の震災地域の活性化を目的としている。隊員は、かっぱ形のヘルメット、緑のつなぎ服、背中に甲羅を描いたベストを着用して活動している。

平成24年度は、震災復興状況のパネル展示、かっぱ仮装コンテスト、遠野かっぱロードPRキャンペーン、遠野かっぱロードフェスティバルなどを開催した。フェスティバルでは、遠野かっぱロードの一部供用開始を記念した祝賀パレードのほか、シンボルモニュメント「かっぱ地蔵」の公開、前夜祭として2000個の灯籠設置とミニライブなどを行い、地元住民らと交流を図った。また、平成25年3月には、発足1周年記念行事として、遠野かっぱロードの開通区間で、路面やガードパイプの清掃活動を実施した。

同部会では、今後「遠野かっぱ工事隊」の活動をさらに充実させ、地域の活性化と復興支援に役立たせたいとしている。



遠野かっぱ工事隊



遠野かっぱロードのPR

地域イベント会場での建設業PR活動（（一社）神奈川県建設業協会県央支部）

神奈川県建設業協会県央支部では、環境美化活動の一環として、地元自治体が開催する各種イベント会場でゴミ袋セットを配布しているが、同時に支部が制作したリーフレットを渡して、建設業の社会的意義をPRしている。

この活動は、平成11年度に始まり、当初は団体名を印刷したゴミ袋だけを配布していたが、平成18年度からは、団体の目的や事業内容を紹介するリーフレット5,000部を別途制作し、ゴミ袋とセットで配布するスタイルとなった。

平成24年度のリーフレットは、災害時に建設業が果たす役割を4コマ漫画で分かりやすく紹介、また、裏面には防災拠点マップや行政の災害情報メニューをQRコード付きで掲載するなど、より役立つ内容となっている。

同支部では、今後も建設業の社会的意義について周知活動を続けたいとしている。



建設業PRリーフレット表面



建設業PRリーフレット裏面



イベントでのリーフレット配布

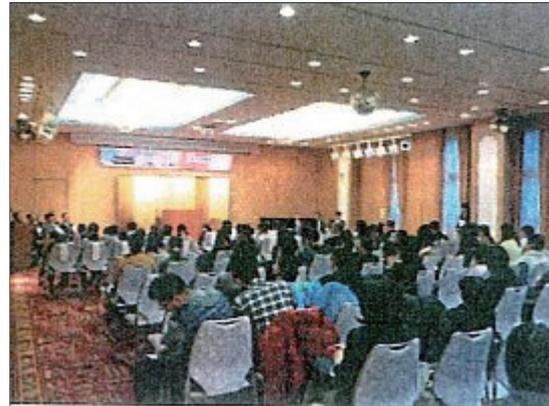
ドリーム21けんせつ絵画コンクールの開催（(一社)奈良県建設業協会）

奈良県建設業協会では、毎年秋に、小学校高学年の児童を対象とした「ドリーム21けんせつ絵画コンクール」を開催している。これは、建設現場を見て感じたこと、想像したことを子どもたちに描いてもらうことで、自ら表現する喜びを味わい、また建設業に興味を持ってもらおうと始めたイベントで、同協会が関係団体とともに結成した実行委員会が主催者となっている。

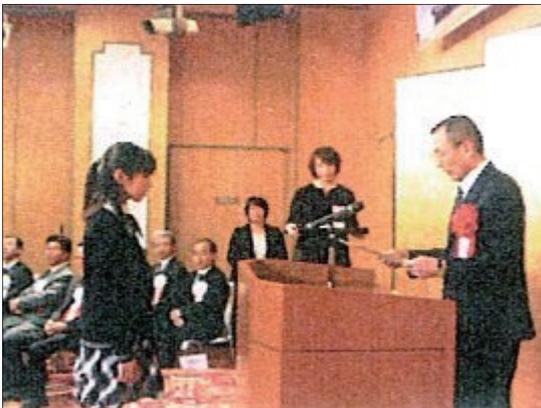
15年目を迎える平成24年度の募集テーマは「こんなたてものがあればいいな、未来の遊び場・街・公園・夢の建設ロボット」とし、募集期間は7月21日～9月7日までとした。

審査の結果、特別賞8作品、優秀賞42作品が選ばれ、11月17日に春日野荘にて表彰式を行った。受賞作品は、表彰式会場に掲示した後、12月には奈良県立図書情報館に展示し、広く県民に公開した。

同協会は、こうした機会を通じて、建設業に対する理解を深めてもらい、将来のまちづくりを担う人材が育ってほしいと願っている。



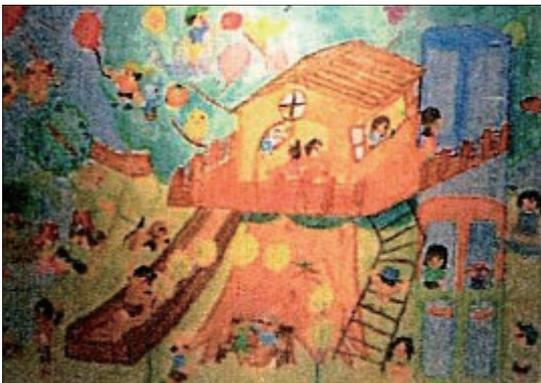
絵画コンクール表彰式会場



優秀作品の表彰



表彰式会場での作品掲示



最優秀作品



優秀特別作品